

NSG
GROUP

NSG グループ

2010年3月期 第2四半期 決算報告
(2009年4月1日～9月30日)

日本板硝子株式会社
2009年11月12日

藤本 勝司
代表執行役社長兼CEO

マイク・パウエル
グループ・ファイナンス・ディレクター

NSGグループ:第2四半期決算

(2009年4月-2009年9月)

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業動向
- 構造改革施策進捗
- 2010年3月期業績見通し修正
- まとめ

要点：2009年4月 - 9月期

- 市場変動が沈静化しつつあることが反映された決算
- 需要基調は依然低水準
- 欧州建築用ガラスで値上げ実施
- 構造改革施策は予定通り進捗
- 厳格なキャッシュ・マネジメント実施
- 2010年3月期通期見通しを上方修正

NSGグループ:第2四半期決算

(2009年4月-2009年9月)

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業動向
- 構造改革施策進捗
- 2010年3月期業績見通し修正
- まとめ

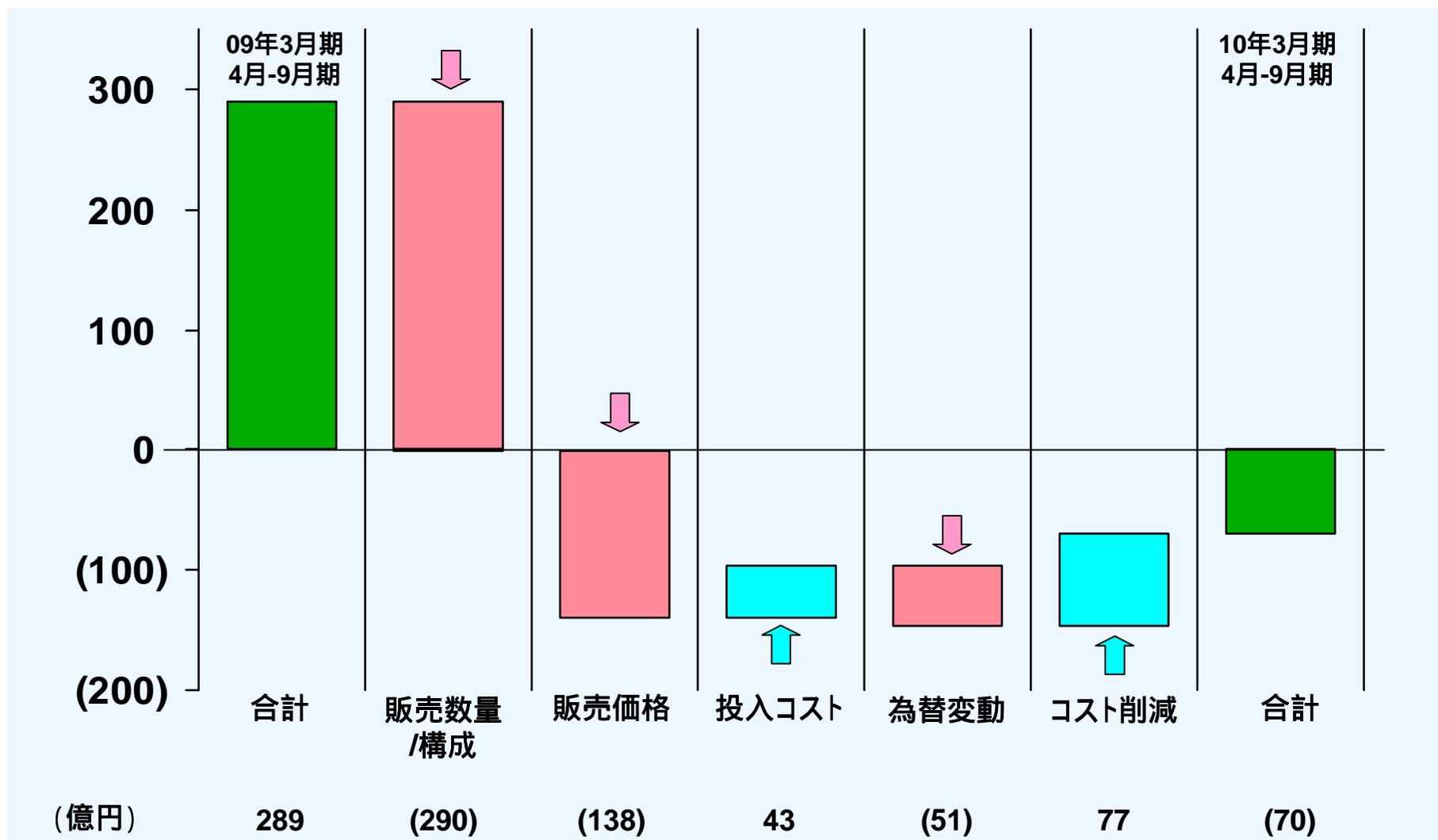
連結損益計算書(2009年4月-9月期)

(億円)	2010年3月期 4月-9月期	2009年3月期 4月-9月期	前年同期比
売上高	2,930	4,311	-32%
暖簾等償却前営業利益*	(70)	289	
暖簾等償却費*	(92)	(117)	
営業利益	(162)	172	
営業外損益	(85)	(47)	
経常利益	(247)	125	
特別損益	(20)	266	
税前利益	(267)	391	
当期純利益	(262)	183	
EBITDA	133	533	-75%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

景気停滞の影響で業績は前年同期比では大きくダウン

営業利益差異分析(暖簾等償却前)



市況悪化の影響分をコスト削減効果で一部相殺

営業外損益

	2010年3月期 4月-9月期 (億円)	2009年3月期 4月-9月期 (億円)
受取利息・受取配当	13	39
支払利息	(74)	(113)
持分法投資損益	(4)	43
為替差損	(9)	(3)
雑損益	(11)	(13)
合計	(85)	(47)

持分法投資損益の大幅な落ち込み

特別損益

	2010年3月期 4月-9月期 (億円)	2009年3月期 4月-9月期 (億円)
有価証券売却益	41	77
関係会社株式売却益	1	300
EC独禁法決定通知に伴う引当金繰入額	-	(89)
固定資産売却益	8	8
事業構造改善費等	(66)	-
その他	(4)	(30)
合計	(20)	266

構造改革施策は予定通り進捗

連結キャッシュ・フロー(2009年4月-9月期)

	2010年3月期 4月-9月期 (億円)	2009年3月期 4月-9月期 (億円)
税金等調整前当期純利益	(270)	390
減価償却費及び暖簾償却費	300	360
運転資本の増減	20	(150)
利息及び税金等の支払額	(120)	(70)
関係会社株式等売却益	(40)	(380)
EC過料	-	90
その他	50	(90)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(60)	150
固定資産の取得	(80)	(250)
関係会社株式等売却による収入	120	520
その他	-	(30)
投資活動によるキャッシュ・フロー	40	240
財務活動前キャッシュ・フロー	(20)	390

厳格なキャッシュ・マネジメント実施

主要財務指標 (KPI)

	<u>2009年9月末</u>	<u>2009年3月末</u>
ネット借入(億円)	3,070	3,310
ネット借入/EBITDA	10.9x	4.9x
ネット借入/純資産比率	1.19	1.29
	<u>2010年3月期</u> <u>4月-9月期</u>	<u>2009年3月期</u> <u>4月-9月期</u>
EBITDA/金融費用(年率換算)	2.5x	4.0x
営業利益率*	-2.4%	6.7%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

EBITDA減少で財務指標も悪化

第1四半期(4-6月)と第2四半期(7-9月)を比較

- 今期の市況は、前年と比べると激変
- そのため、事業部門の業績分析には、10年3月期第1四半期(4-6月)と同第2四半期(7-9月)との対比がより 有意義
- 以下のスライドでは、10年3月期第1四半期(4-6月)と同第2四半期(7-9月)の対比で表示
- 前年との比較は補足資料中に掲載

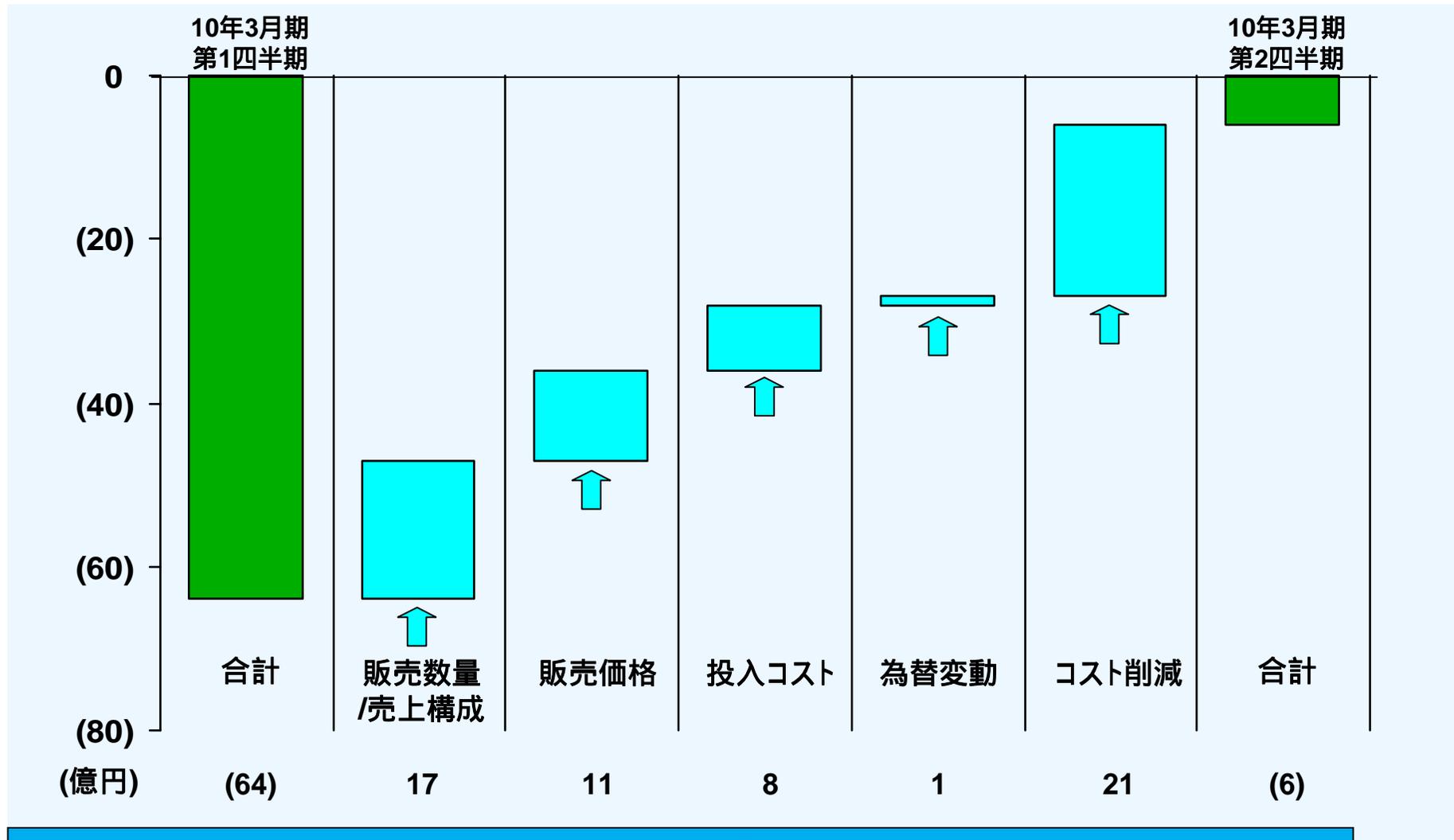
連結損益計算書(四半期比較)

(億円)	2010年3月期 第2四半期	2010年3月期 第1四半期	前四半期比
売上高	1,494	1,436	4%
暖簾等償却前営業利益*	(6)	(64)	
暖簾等償却費*	(46)	(46)	
営業利益	(52)	(110)	
営業外損益	(37)	(48)	
経常利益	(89)	(158)	
特別損益	(9)	(11)	
税前利益	(98)	(169)	
当期純利益	(105)	(157)	
EBITDA	91	42	117%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

市場変動の沈静化とコスト削減を反映

暖簾等償却前営業利益差異分析(四半期比較)



数量、コスト削減および販売価格が改善

連結キャッシュ・フロー (四半期比較)

	2010年3月期 第2四半期 (億円)	2010年3月期 第1四半期 (億円)	差 (億円)
税金等調整前当期純利益	(100)	(170)	70
減価償却費及び暖簾償却費	150	150	0
運転資本の増減	80	(60)	140
利息及び税金等の支払額	(30)	(90)	60
関係会社株式等売却益	-	(40)	40
その他	(30)	80	(110)
営業活動によるキャッシュ・フロー	70	(130)	200
固定資産の取得	(20)	(60)	40
関係会社株式等売却による収入	50	70	(20)
その他	10	(10)	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	40	0	40
財務活動前キャッシュ・フロー	110	(130)	240

キャッシュ・フロー改善

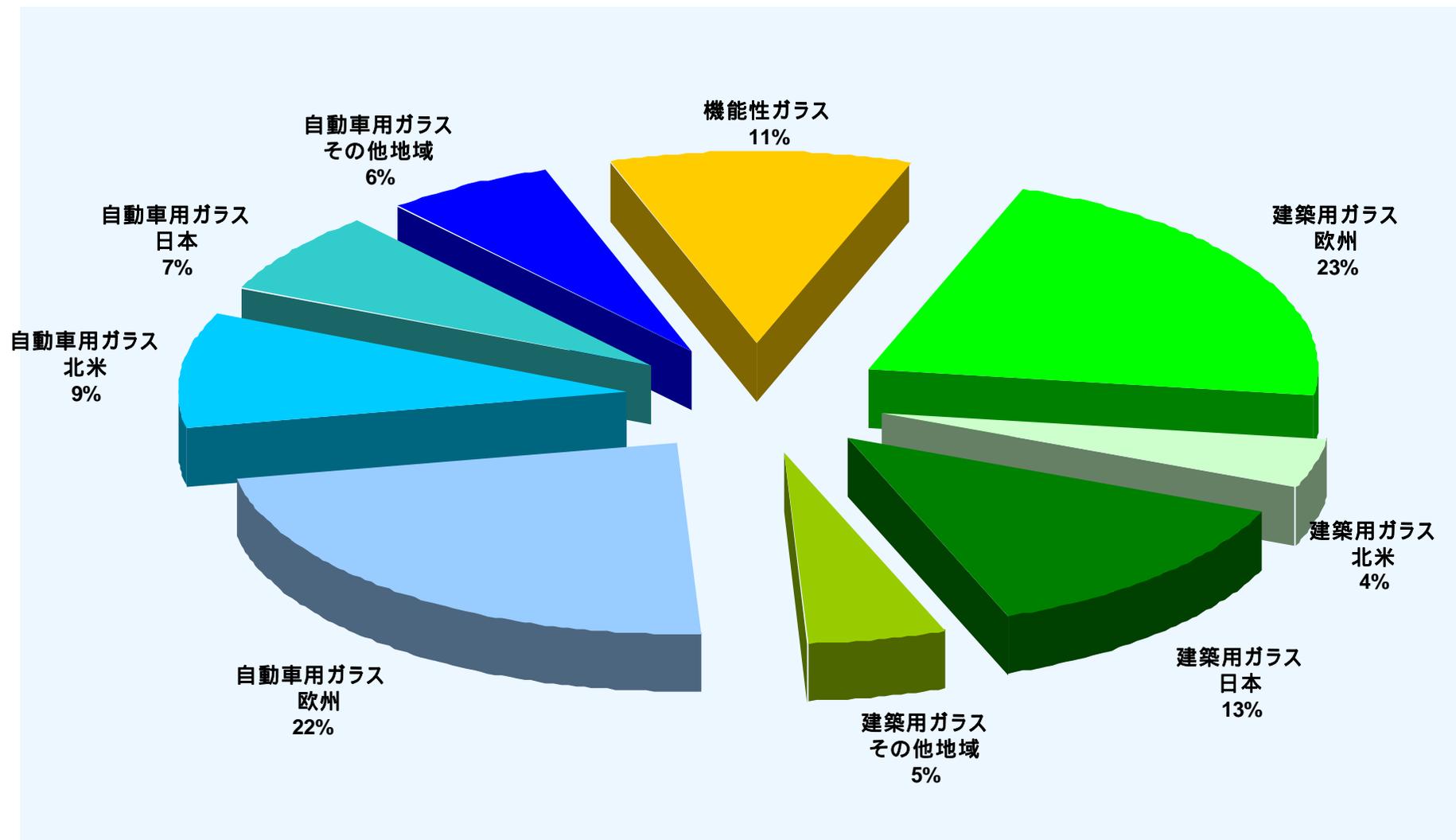
NSGグループ:第2四半期決算

(2009年4月-2009年9月)

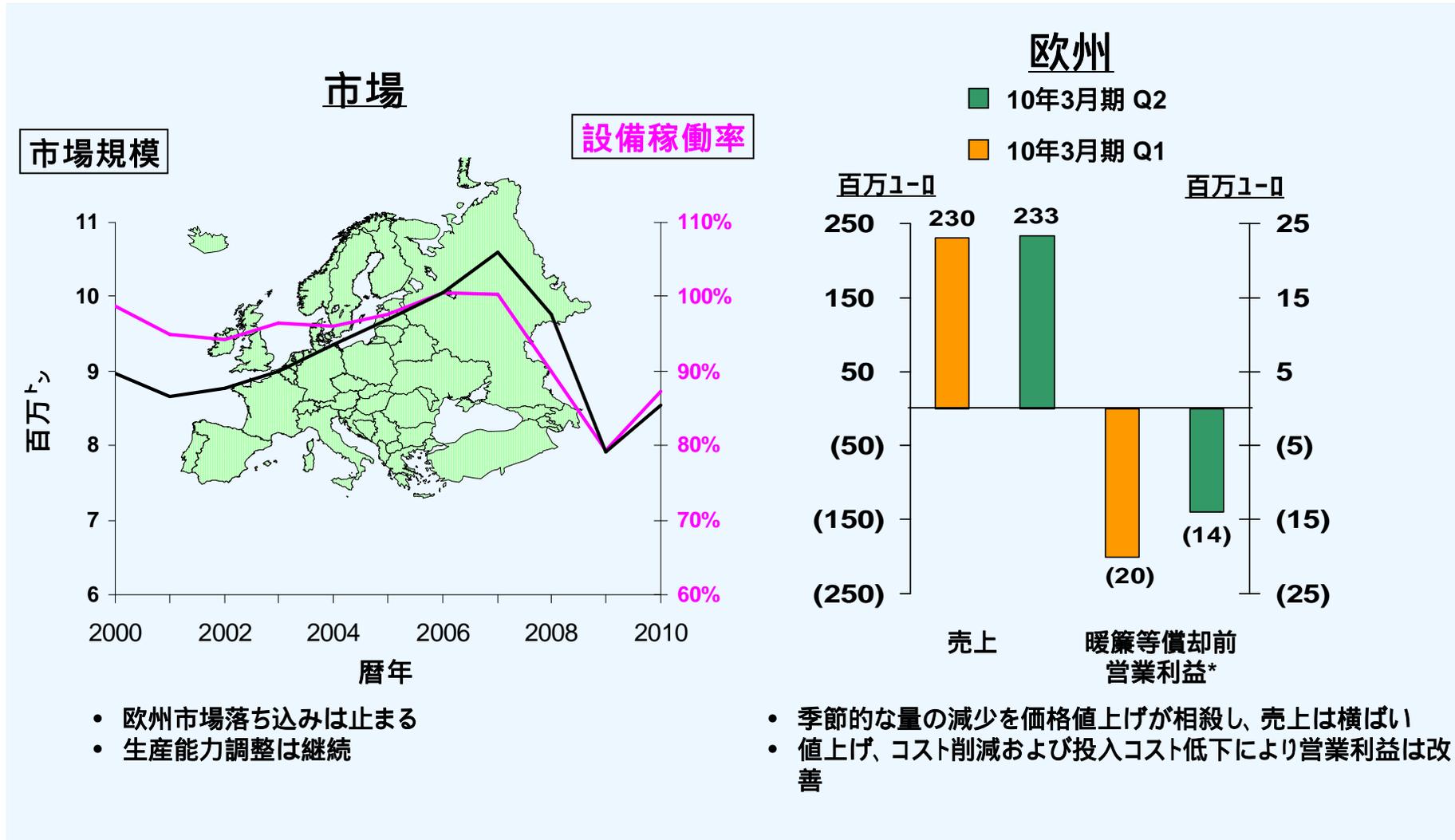
アジェンダ

- ・ 決算概要
- ・ 需要および事業動向
 - 建築用ガラス事業
 - 自動車用ガラス事業
 - 機能性ガラス事業
- ・ 構造改革施策進捗
- ・ 2010年3月期業績見通し修正
- ・ まとめ

事業別売上高



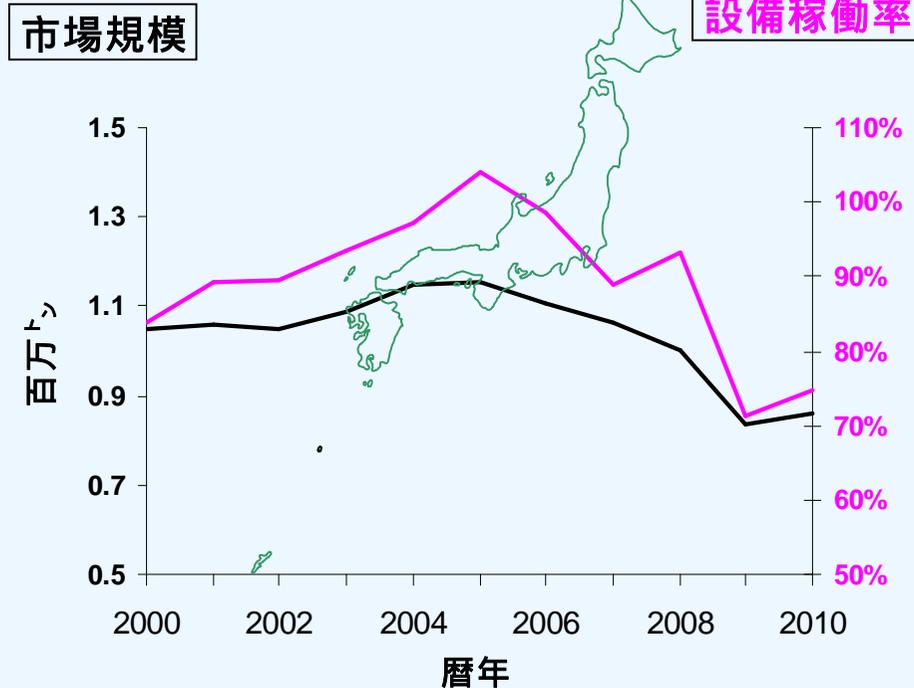
欧州建築用ガラス事業 (10年3月期第1四半期との比較)



注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

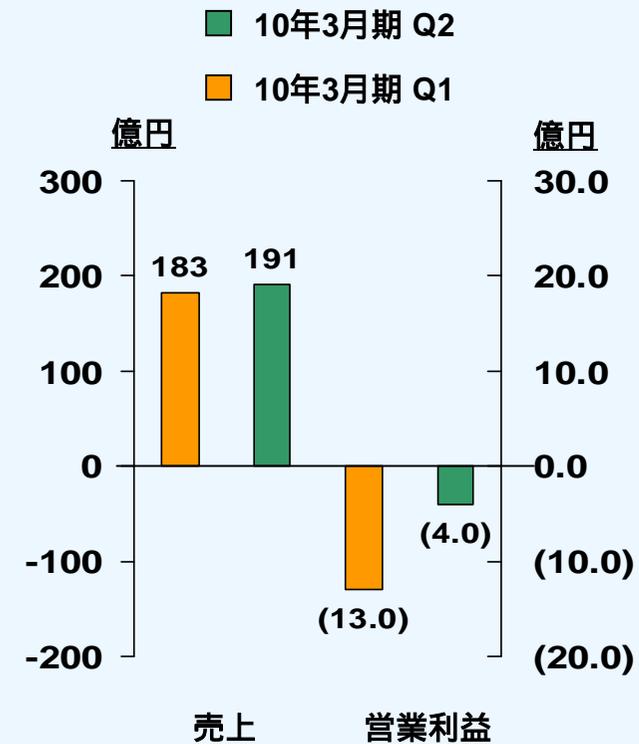
日本建築用ガラス事業 (10年3月期第1四半期との比較)

市場



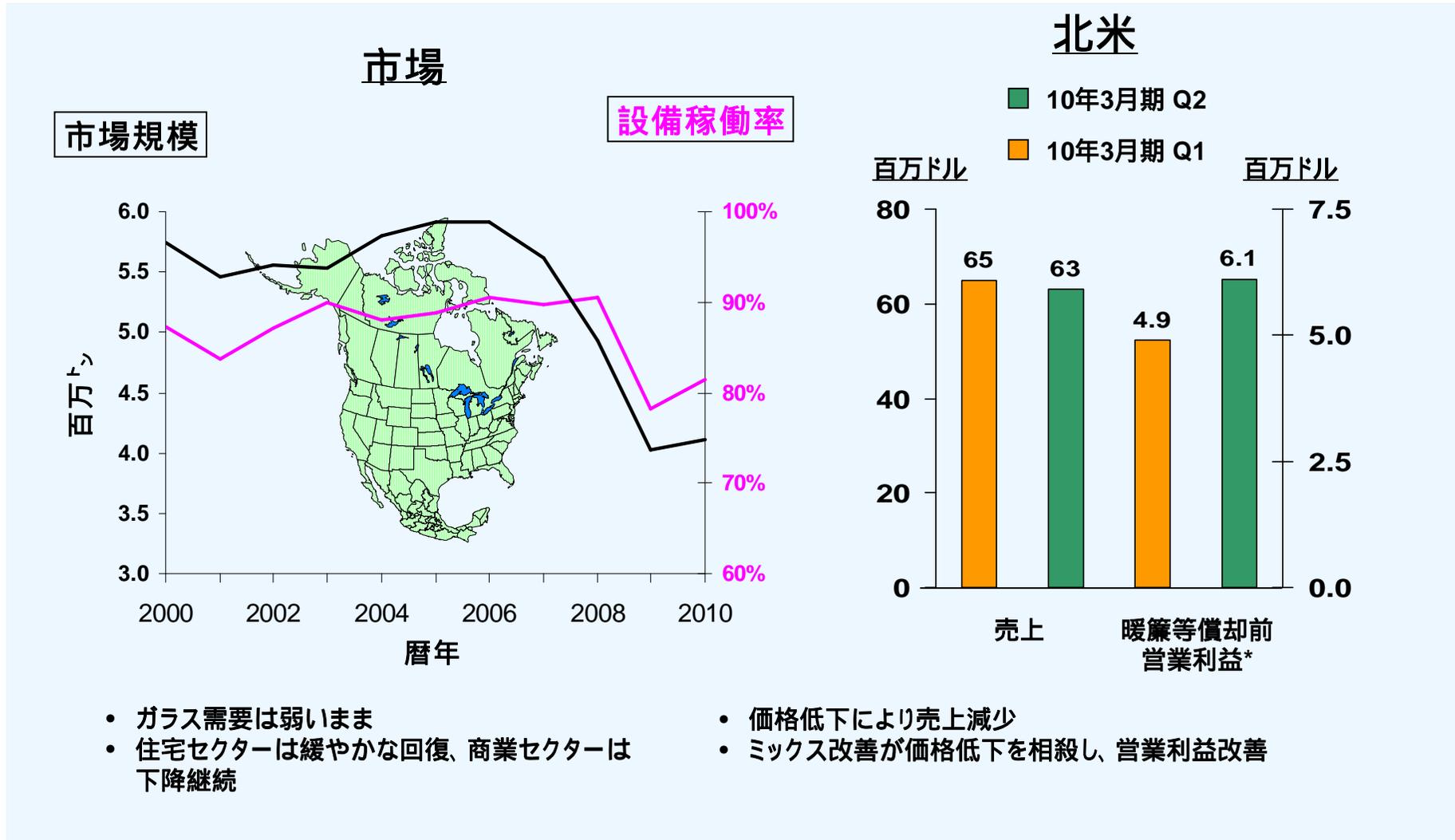
- 低調な需要が継続

日本



- 数量増により売上増
- 数量増、コスト削減および投入コスト低下により、営業利益改善

北米建築用ガラス事業 (10年3月期第1四半期との比較)



- ガラス需要は弱いまま
- 価格低下により売上減少
- 住宅セクターは緩やかな回復、商業セクターは下降継続
- ミックス改善が価格低下を相殺し、営業利益改善

注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

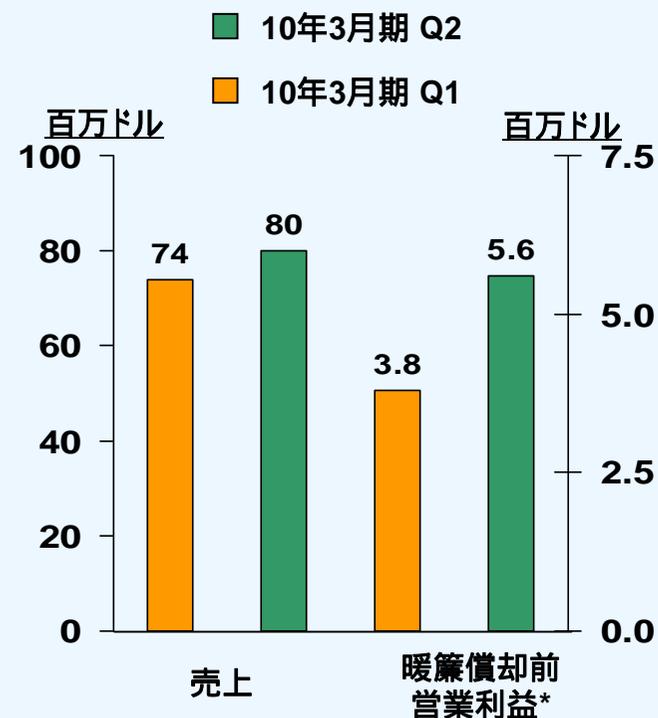
その他建築用ガラス事業 (10年3月期第1四半期との比較)

市場



- 南米では、成長が回復
- 東南アジアでは、需要は横ばいのまま。

その他地域



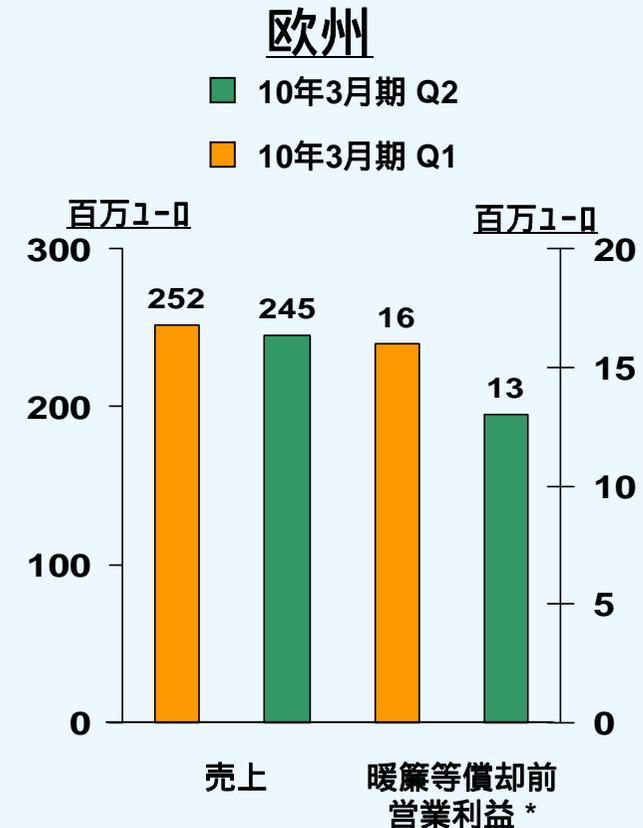
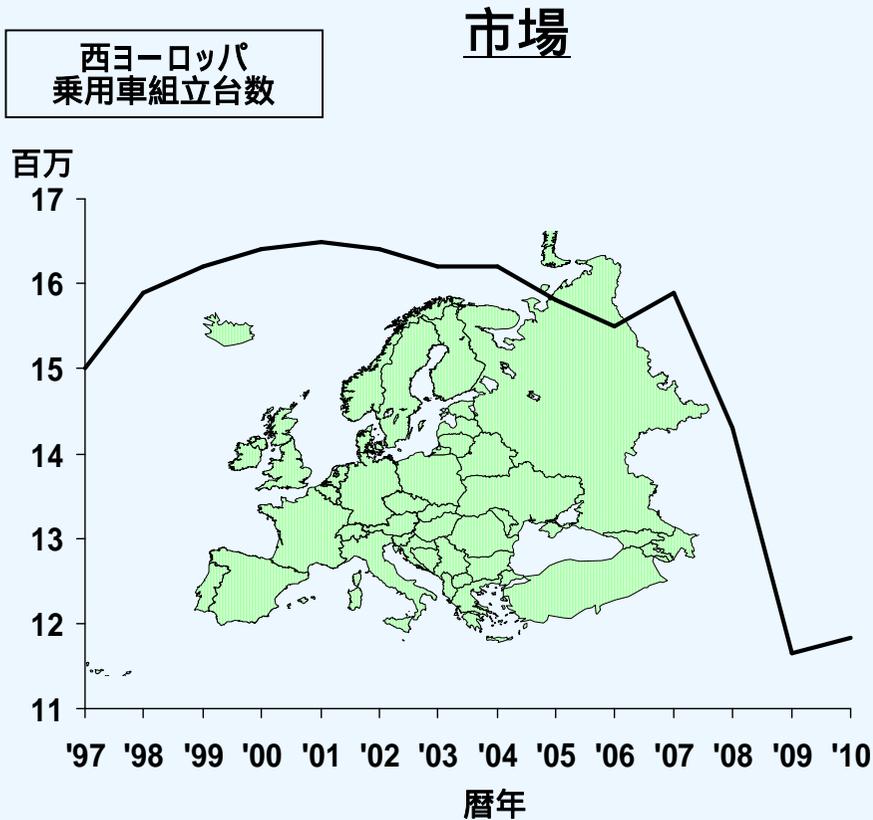
- 南米では、価格および数量の改善により、営業利益増
- 東南アジアでは、値上がりにより、同様に営業利益増

注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

ソーラービジネスの概況

- 薄膜型太陽電池向けガラス基板の数量は引き続き伸びているが、他の太陽発電向け製品は減少
- 通年では薄膜型太陽電池向けガラス基板は、前年比40%の伸びを予想
- 太陽光発電事業への融資減少により市場成長は減速したものの、有望なプロジェクトへの融資は行われている
- 再生可能エネルギーの拡大や政府支援を背景に、潜在需要は大きく、中期見通しは明るい

欧州自動車用ガラス事業 (10年3月期第1四半期との比較)



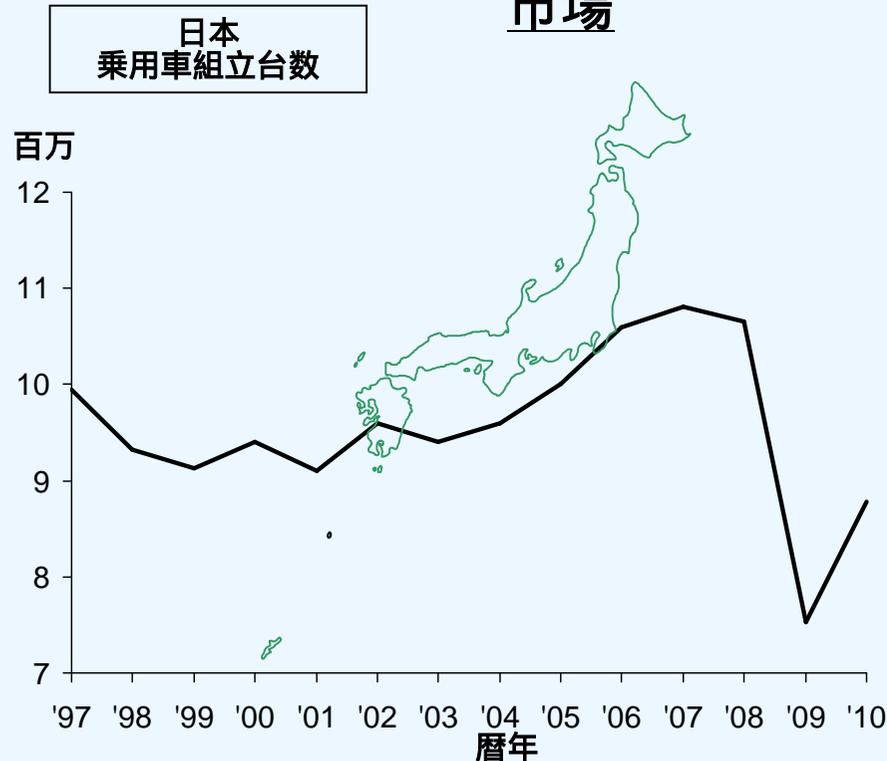
- 自動車の買換え支援措置により2009年4-6月期初から需要が高まる
- 措置終了による需要軟化も見込まれるが、2010年に入っても買換え支援措置の効果は緩やかに継続
- 残っている買換え支援措置がいつまで続くかは依然不透明

- 需要基調は第1四半期に比べて高いが、季節的な自動車メーカーの工場停止により第2四半期の売上減少
- 買換え支援措置による需要押し上げ効果は依然顕著
- 数量減により営業利益減少

注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

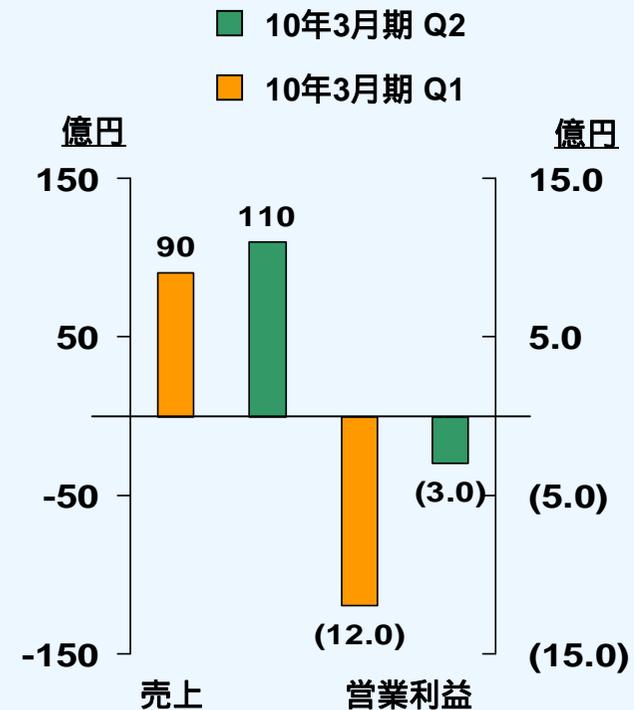
日本自動車用ガラス事業 (10年3月期第1四半期との比較)

市場



- 政府による税制優遇措置が7-9月期から2009年需要を押し上げ
- 輸出需要改善も市場にプラスとなっている
- 今の税制優遇措置が終わった後の2010年4-6月期に需要軟化があると予想

日本

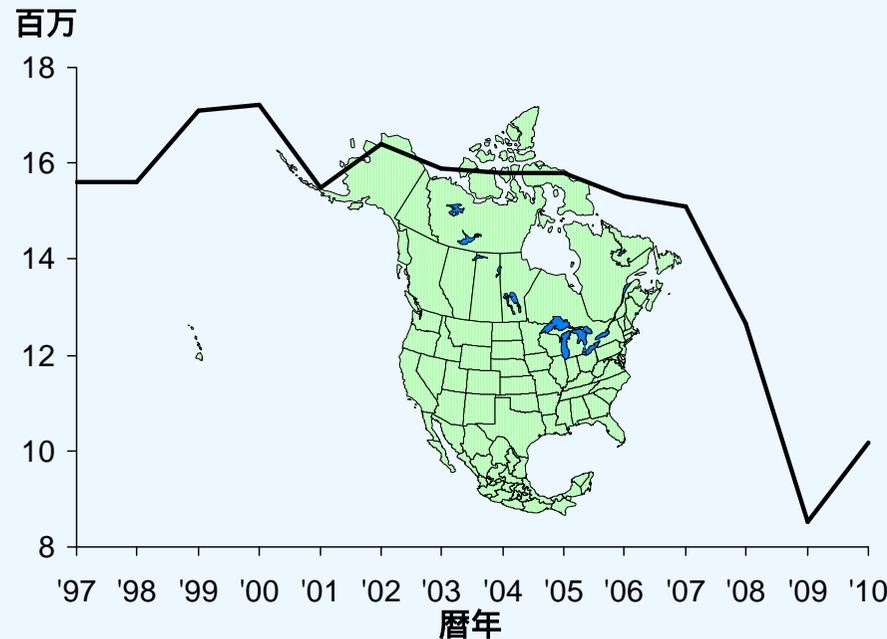


- 買換え支援措置のおかげで国内および輸出需要が改善したことで、売上増
- 生産改善およびコスト削減を継続

北米自動車用ガラス事業 (10年3月期第1四半期との比較)

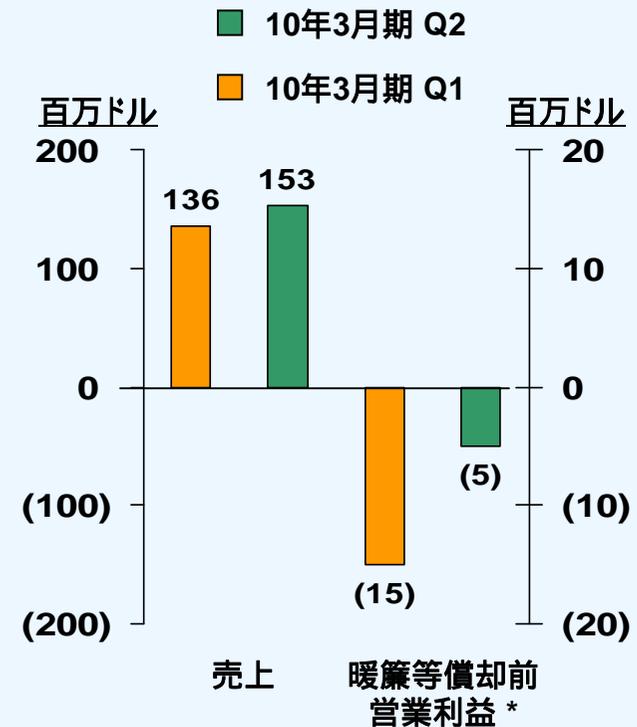
北米
乗用車組立台数

市場



- 新車買換え支援策が7-9月期の回復のはずみ
- その後の堅調な改善が2010年の前年比成長を牽引

北米

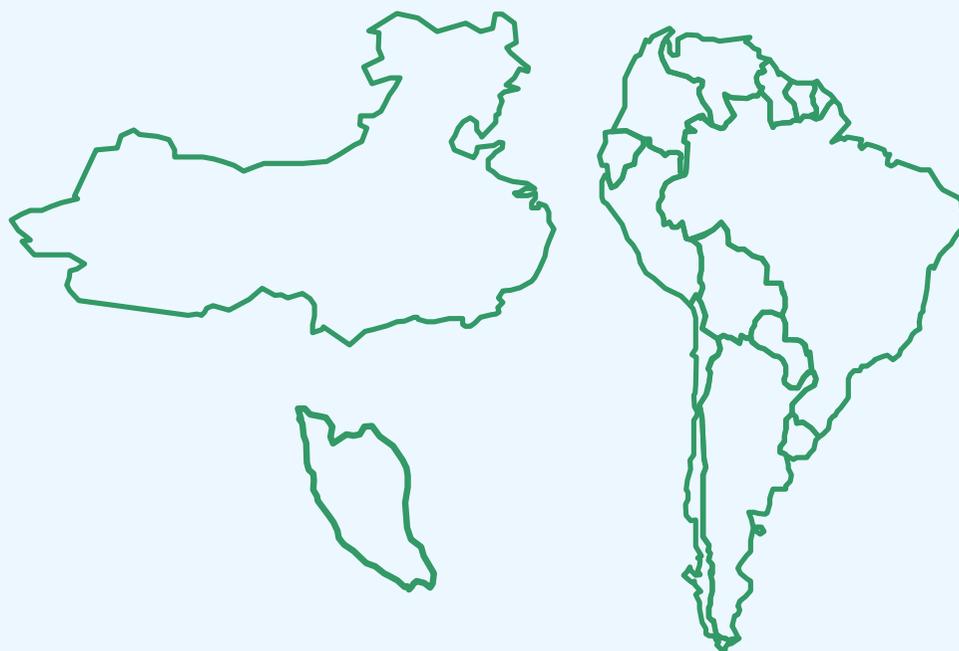


- 新車買換え支援策が7-9月期売上を押し上げた
- GMおよびChryslerが縮小規模ではあるが生産を再開
- AGRの数量はOEに比べると横ばい
- 数量をベースとして収益性改善

注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

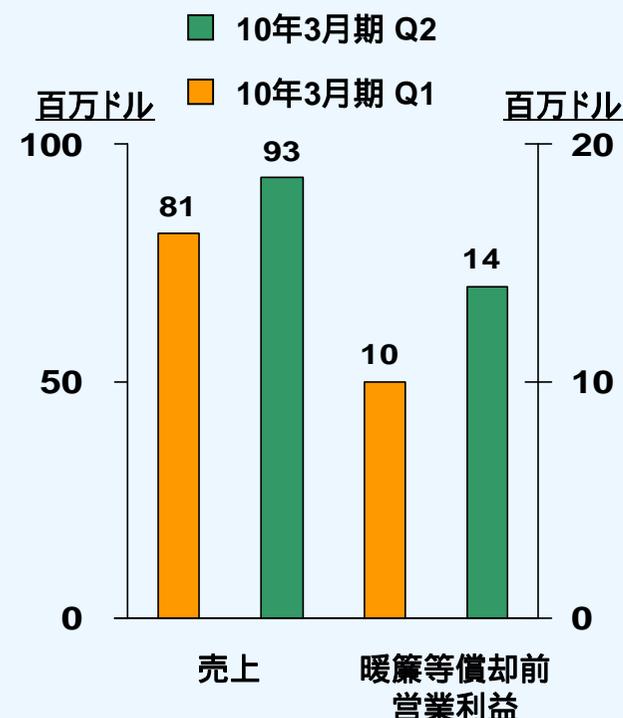
その他自動車用ガラス事業 (10年3月期第1四半期との比較)

市場



- 経済並びに自動車産業への政府刺激策のおかげで、中国では前年比40%以上の大きな成長が見込まれる
- 南米の需要は2008年に低下したが、2010年に回復が見込まれる

その他地域

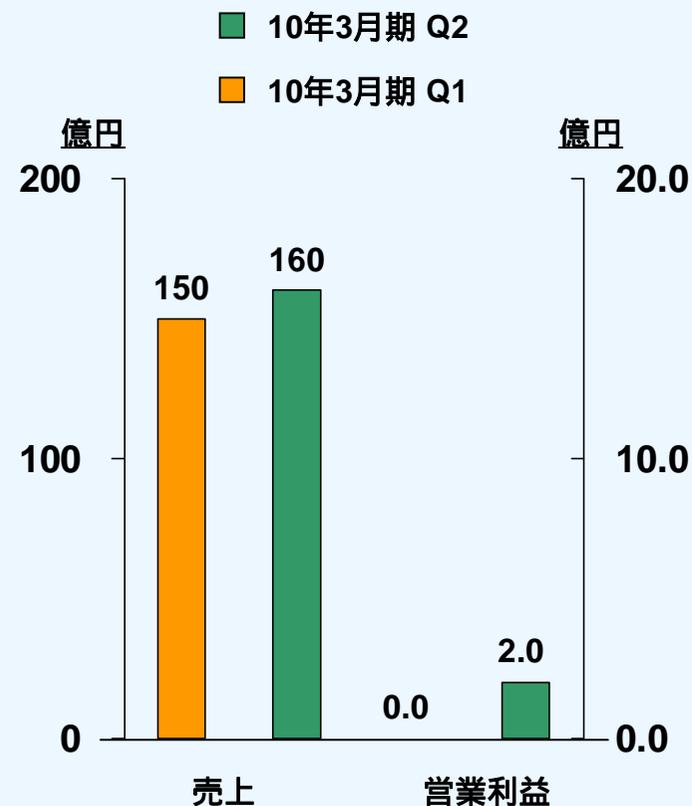


- OE市場成長をベースとして売上改善が継続
- 業績改善は数量が牽引

注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

機能性ガラス事業 (10年3月期第1四半期との比較)

- 市場のファンダメンタルズ改善に伴って回復
- タイミングベルト用ゴムコードと電池用セパレータは自動車市場の好転で健全化
- プリンターおよびスキャナー用部品は家電需要の増加に伴い回復
- ディ스플레이市場は中国で回復も、他の地域では依然として低迷



NSGグループ:第2四半期決算

(2009年4月-2009年9月)

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業動向
- 構造改革施策進捗
- 2010年3月期業績見通し修正
- まとめ

構造改革施策の進捗

- 構造改革施策自体の成果として、今期に1,700人を削減し、累計削減人数は6,200人に。最終削減目標は6,700人
- 追加の大きな費用の発生は無い見込み
- 下半期は構造改革施策の効果がさらに顕在化する見通し
- 構造改革は今期末までにほぼ完了

NSGグループ:第2四半期決算

(2009年4月-2009年9月)

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業動向
- 構造改革施策進捗
- 2010年3月期業績見通し修正
- まとめ

2010年3月期業績見通し修正

2010年3月期業績見通し修正要因：

- 当初計画比、自動車用数量は上回るが、建築部門数量はそれ以上に下回る見通し
- 建築用ガラス価格の値上り
- 3事業部門で投入コストダウン

2010年3月期業績見通し

(億円)	<u>2010年3月期</u> <u>修正見通し</u>	<u>2010年3月期</u> <u>当初見通し</u>
売上高	5,900	5,800
暖簾等償却前営業利益*	(50)	(120)
暖簾等償却費*	(180)	(180)
営業利益	(230)	(300)
営業外損益	(170)	(170)
経常利益	(400)	(470)
当期純利益	(470)	(500)

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

NSGグループ:第2四半期決算

(2009年4月-2009年9月)

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業動向
- 構造改革施策進捗
- 2010年3月期業績見通し修正
- まとめ

まとめ

- 市場変動が沈静化しつつあることが反映された決算
- 建築用ガラス(欧州)価格値上げ水準を維持
- 構造改革施策およびコスト削減計画実現において順調な進捗
- 厳格なキャッシュ・マネージメント継続
- 通期業績見通しを修正

ご注意

- 当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。
- その要因の主なものとしては、主要市場(欧州、日本、北米、アジア等)の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高 (2009年4月-9月期)

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	375	620	122	147	1,264
自動車用ガラス	197	663	276	167	1,303
機能性ガラス	192	26	7	89	314
その他	27	10	0	12	49
合計	791	1,319	405	415	2,930

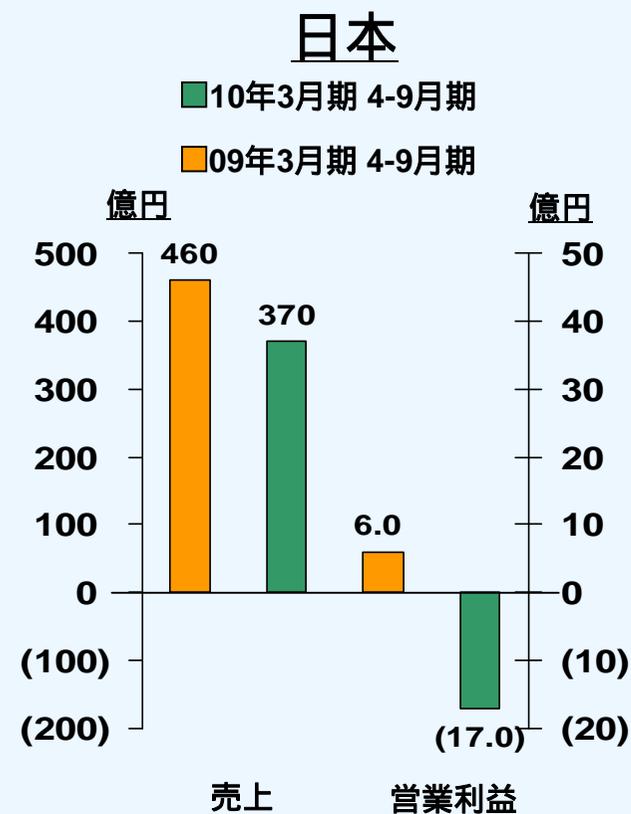
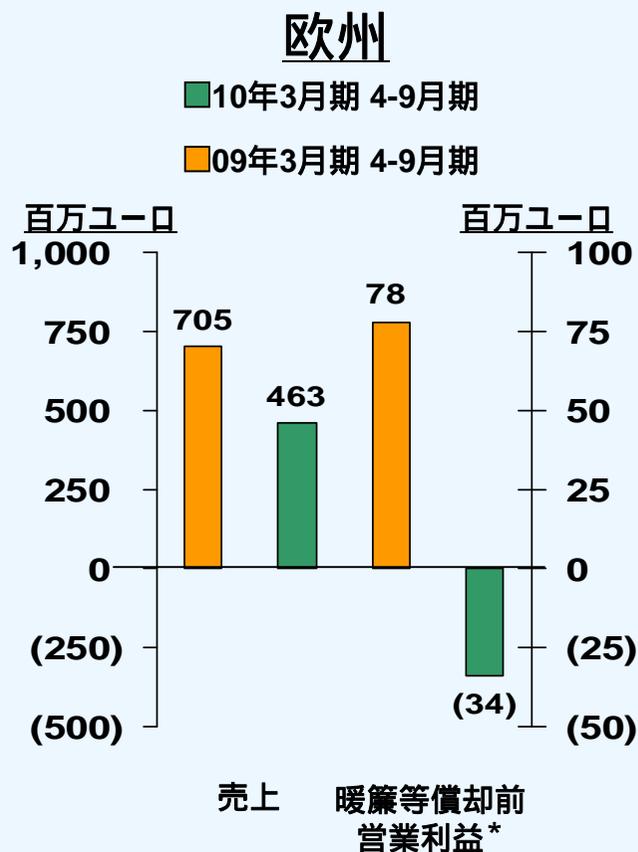
暖簾等償却前 営業利益 (2009年4月-9月期)

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	(17)	(45)	11	9	(42)	-3%
自動車用ガラス	(15)	39	(19)	23	28	2%
機能性ガラス	(9)	1	0	10	2	1%
その他	(16)	(42)	0	0	(58)	
合計	(57)	(47)	(8)	42	(70)	-2%
営業利益率	-7%	-4%	-2%	10%	-2%	

暖簾等償却後 営業利益 (2009年4月-9月期)

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	(17)	(78)	5	5	(85)	-7%
自動車用ガラス	(15)	8	(29)	15	(21)	-2%
機能性ガラス	(9)	1	0	10	2	1%
その他	(16)	(42)	0	0	(58)	
合計	(57)	(111)	(24)	30	(162)	-6%
営業利益率	-7%	-8%	-6%	7%	-6%	

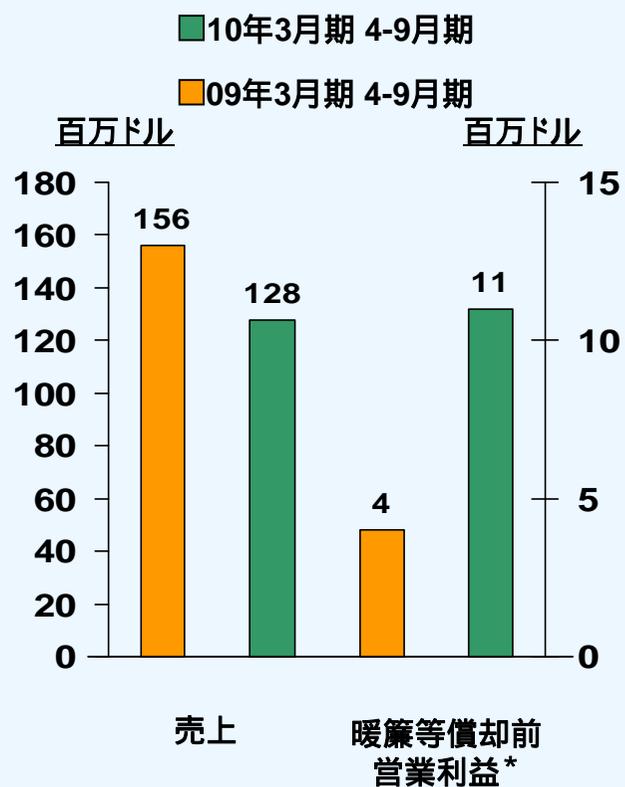
建築用ガラス事業 (前年同期との比較)



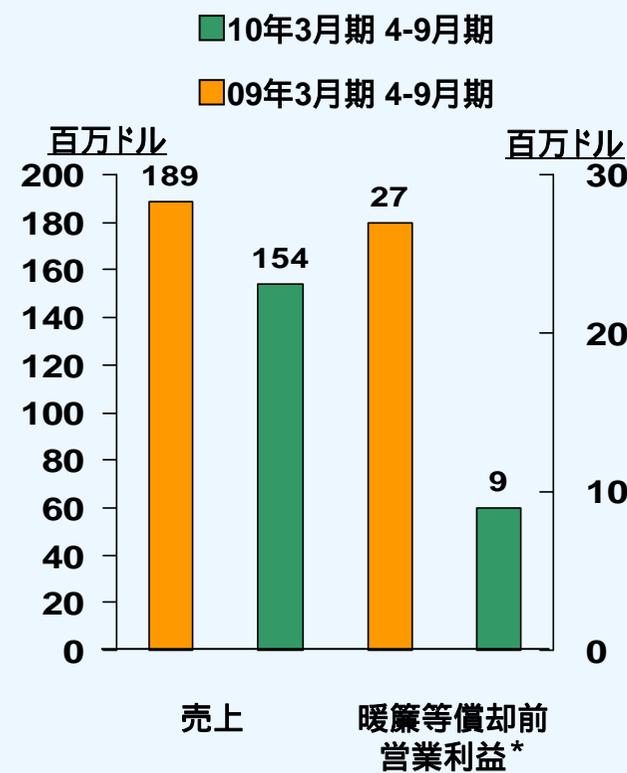
注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

建築用ガラス事業 (前年同期との比較)

北米



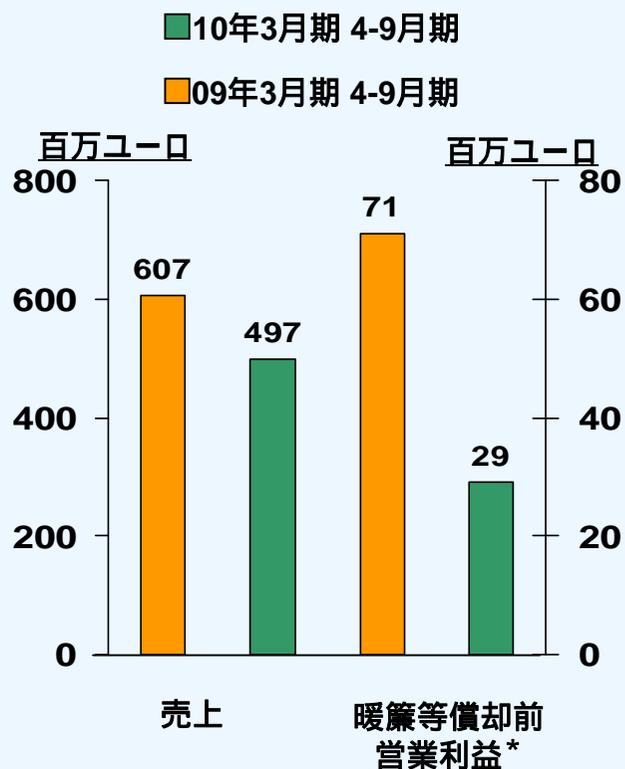
その他地域



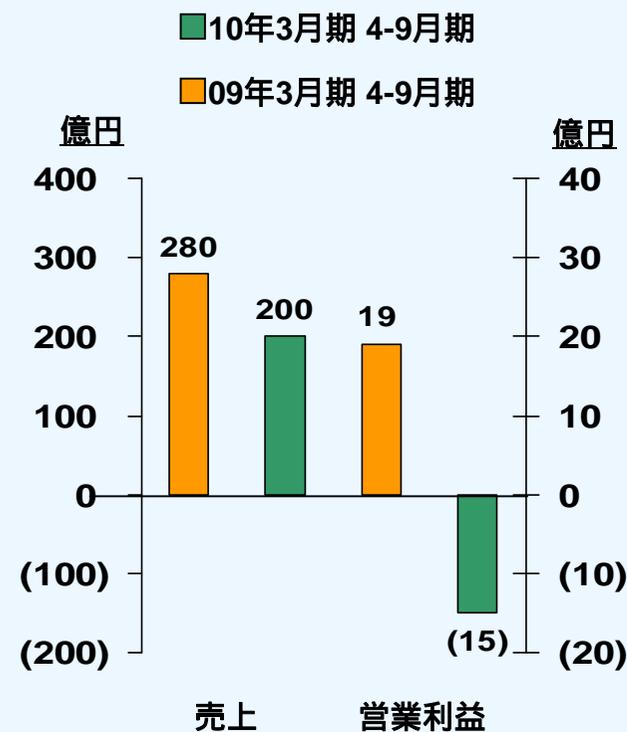
注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

自動車用ガラス事業 (前年同期との比較)

欧州



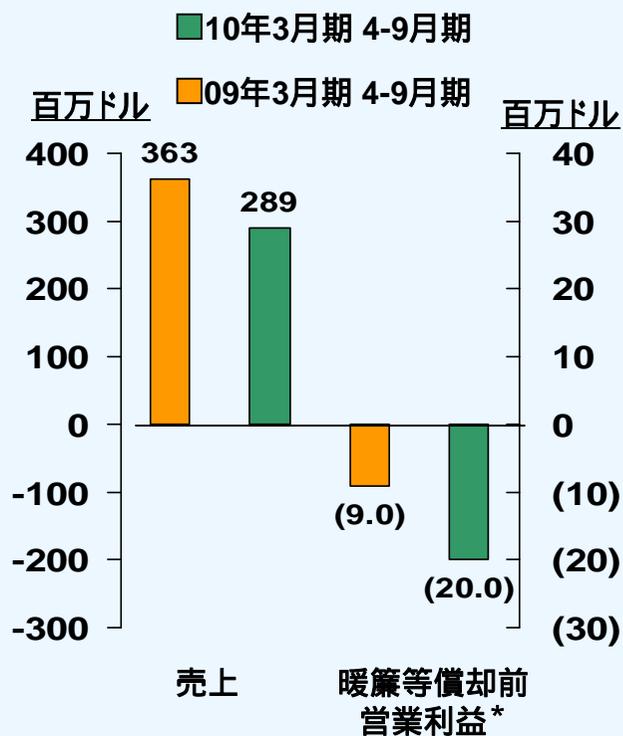
日本



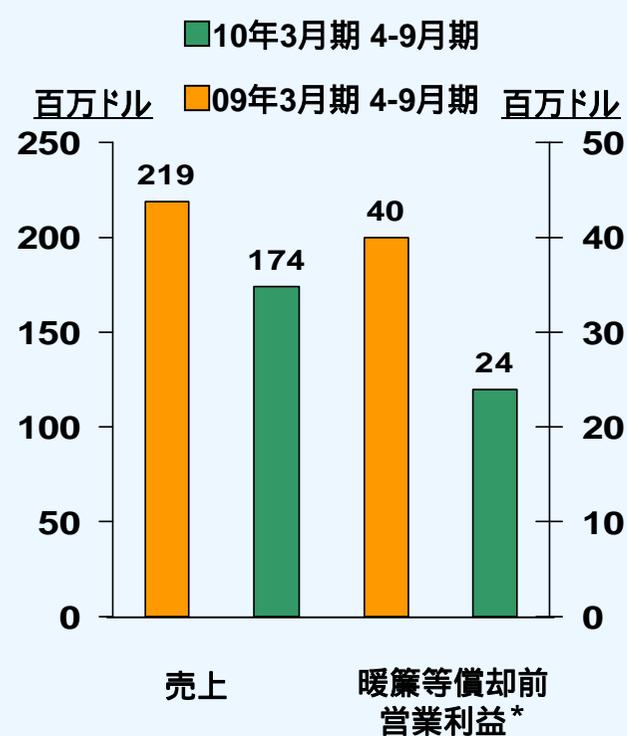
注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

自動車用ガラス事業 (前年同期との比較)

北米

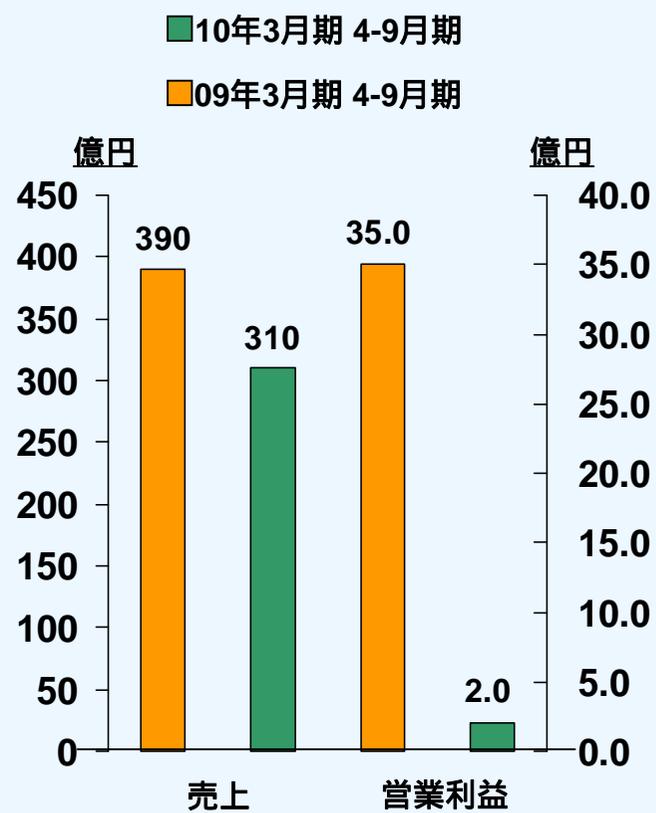


その他地域



注: 暖簾償却はピルキントン買収関連のみ

機能性ガラス事業 (前年同期との比較)



前提為替レート

	10年3月期 4月-9月期	09年3月期 4月-9月期	10年3月期 第1四半期	10年3月期 通期予想
期中平均為替レート:				
円/英ポンド	152	207	151	150
円/ユーロ	133	163	132	130
円/米ドル	96	105	97	95
期末為替レート:				
円/英ポンド	144	187	160	
円/ユーロ	131	149	136	
円/米ドル	89	103	96	

NSG
GROUP